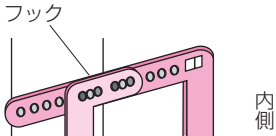
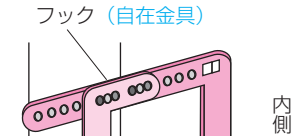


要点ガッチリ 消防設備士5類
 版刷：第1版第3刷
 発行日：2021年2月15日
 ISBNコード：978-4-485-23023-7

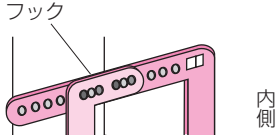
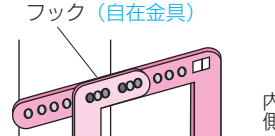
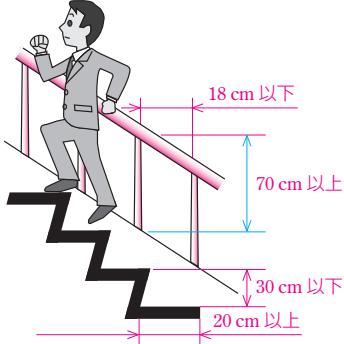
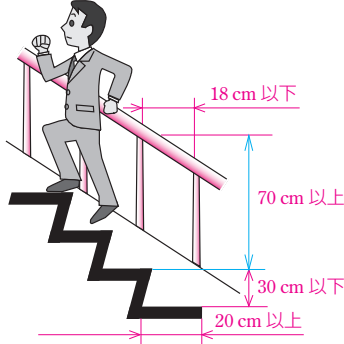
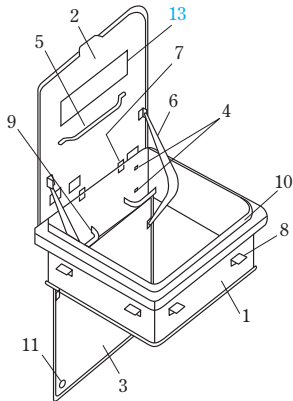
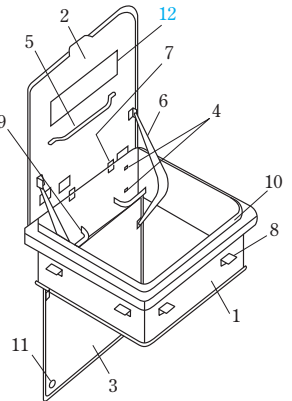
ページ	箇所	誤	正
115	下から9行目	床面の場合は、直径 0.5 m以上であること。	開口部を床面の部分に設ける場合は、直径 0.5 m以上の円が内接できるものであること。 (青字部分を修正・追加)
119	図 2.50 左の図		 (青字部分を追加)
332	7～8行目	…の避難器具の設置個数を減少することができる。	…の設置個数とすることができる。
333	4行目	…の避難器具を減少することができる。	
	下から9行目		
341	下から13行目	…を減少できる。	
	下から11行目		
	下から8行目		
351	下から8行目	…を減免	
	下から6行目		
	下から4行目		

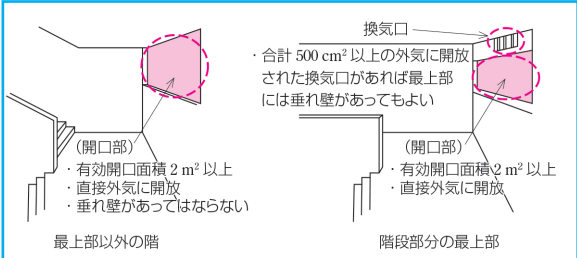
要点ガッチリ 消防設備士5類

版刷：第1版第2刷

発行日：2018年6月6日

ISBNコード：978-4-485-23023-7

ページ	箇所	誤	正																																																		
85	7 避難ロープ	つり下げ 金具	つり下げ具 (青字部分を削除)																																																		
115	下から9行目	床面の場合、直径 0.5 m以上であること。	開口部を床面の部分に設ける場合は、直径 0.5 m以上の円が内接できるものであること。 (青字部分を修正・追加)																																																		
119	図 2.50 左の図		 (青字部分を追加)																																																		
121	「⑤ 表示」から3行目	製造年月 日	製造年月 (青字部分を削除)																																																		
126	「① 緩降機とは」4行目	検定対 商品	検定対 象品																																																		
139	「③ 表示」図 2.60 製造年月	平成 ■ 年 ■ 月	■ 年 ■ 月 (青字部分を削除)																																																		
149	3行目	床面 積 の	床面の (青字部分を削除)																																																		
156	下から5行目⑥の解説	左右 対称	左右 均等																																																		
157	下から5行目																																																				
161	問4 1行目																																																				
163	「③ 表示」図 2.75 製造年月	平成 ■ 年 ■ 月	■ 年 ■ 月 (青字部分を削除)																																																		
185	図 2.91																																																				
213	要点のまとめ	9行目	場合 あ って	場合 に あ っ て (青字部分を追加)																																																	
		下から7行目	架空 断 線	架空 電 線																																																	
215	問2	避難はしごの 操 作	操 作 (青字部分を削除)																																																		
218	図 2.110	 <table border="1" data-bbox="853 1641 1018 2022"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名 称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>本 体</td></tr> <tr><td>2</td><td>上 ぶ た</td></tr> <tr><td>3</td><td>下 ぶ た</td></tr> <tr><td>4</td><td>取 付 金 具</td></tr> <tr><td>5</td><td>手 掛 け</td></tr> <tr><td>6</td><td>ア ー ム</td></tr> <tr><td>7</td><td>ち ょ う 番</td></tr> <tr><td>8</td><td>ア ン カ ー</td></tr> <tr><td>9</td><td>足 掛 け</td></tr> <tr><td>10</td><td>上 端</td></tr> <tr><td>11</td><td>排 水 口</td></tr> </tbody> </table>	番号	名 称	1	本 体	2	上 ぶ た	3	下 ぶ た	4	取 付 金 具	5	手 掛 け	6	ア ー ム	7	ち ょ う 番	8	ア ン カ ー	9	足 掛 け	10	上 端	11	排 水 口	 <table border="1" data-bbox="1369 1641 1533 2045"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名 称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>本 体</td></tr> <tr><td>2</td><td>上 ぶ た</td></tr> <tr><td>3</td><td>下 ぶ た</td></tr> <tr><td>4</td><td>取 付 金 具</td></tr> <tr><td>5</td><td>手 掛 け</td></tr> <tr><td>6</td><td>ア ー ム</td></tr> <tr><td>7</td><td>ち ょ う 番</td></tr> <tr><td>8</td><td>ア ン カ ー</td></tr> <tr><td>9</td><td>足 掛 け</td></tr> <tr><td>10</td><td>上 端</td></tr> <tr><td>11</td><td>排 水 口</td></tr> <tr><td>12</td><td>使 用 説 明 板</td></tr> </tbody> </table>	番号	名 称	1	本 体	2	上 ぶ た	3	下 ぶ た	4	取 付 金 具	5	手 掛 け	6	ア ー ム	7	ち ょ う 番	8	ア ン カ ー	9	足 掛 け	10	上 端	11	排 水 口	12	使 用 説 明 板
番号	名 称																																																				
1	本 体																																																				
2	上 ぶ た																																																				
3	下 ぶ た																																																				
4	取 付 金 具																																																				
5	手 掛 け																																																				
6	ア ー ム																																																				
7	ち ょ う 番																																																				
8	ア ン カ ー																																																				
9	足 掛 け																																																				
10	上 端																																																				
11	排 水 口																																																				
番号	名 称																																																				
1	本 体																																																				
2	上 ぶ た																																																				
3	下 ぶ た																																																				
4	取 付 金 具																																																				
5	手 掛 け																																																				
6	ア ー ム																																																				
7	ち ょ う 番																																																				
8	ア ン カ ー																																																				
9	足 掛 け																																																				
10	上 端																																																				
11	排 水 口																																																				
12	使 用 説 明 板																																																				
221	下から10行目	板加 す る	板加 工 する																																																		
223	問2 図右側の数値	576	(削除)																																																		

ページ	箇所	誤	正
231	下から 9 行目	緩降機の取付け部	取付け部 (青字部分を削除)
236	「③ 降下空間」から 1 行目	全面	前面
332	図 3.24 階段部分の最上部の図中	垂れ壁があってはならない	(削除)
332	7～8 行目	…の避難器具の設置個数を減少することができる。	…の設置個数とすることができる。
333	4 行目 下から 9 行目	…の避難器具を減少することができる。	
341	下から 13 行目 下から 11 行目	…を減少できる。	
	下から 8 行目		
351	下から 8 行目 下から 6 行目	…を減免	
	下から 4 行目		
345	問 4 [参考]		<p>[参考] 消防庁長官が定める部分を有する屋内避難階段の構造は次のとおり。</p>  <p>各階の中間ごとに排煙上有効な直接外気に開放された開口部を有する構造とすることが条件となる。 (青枠部の図が抜けていました)</p>
347	下から 7～8 行目 ・消防同意 ②	指定確認検査期間	指定確認検査機関
350	「消防設備士制度」から 7 行目	整備, 工事である。	整備, 点検である。
362	問 1 (3)	はしご下端の高さ	最下部横棧の高さ
363		はしごの下端の寸法は	最下部横棧の高さは
364	問 2 (3)	はしご下端の高さ	最下部横棧の高さ
365		はしごの下端の寸法は	最下部横棧の高さは
370	【問 1】の見出しと図の間	(文章を追加)	緩降機を設置する場合, 下図の A～H, およびア～ウの部分の数値, 名称を答えなさい。
374	【問 1】の見出しと図の間	(文章を追加)	垂直式救助袋を設置する場合, 下図の A～F, およびア、イの部分の数値, 名称を答えなさい。
376	【問 2】の見出しと図の間	(文章を追加)	斜降式救助袋を設置する場合, 下図の A～G, およびア～ウの部分の数値, 名称を答えなさい。
378	問 1 最後の行	4 本使用するものとする。	4 本使用するものとするが, 引抜力は 2 本のアンカーボルトにかかるものとする。
379	問 1 8 行目の数式	$T = \frac{M \text{ [N} \cdot \text{mm]}}{300 \text{ mm} \times 4 \text{ 本}} = \frac{3\,400\,000}{1\,200} \approx 2\,833.3 \text{ [N]}$	$T = \frac{M \text{ [N} \cdot \text{mm]}}{300 \text{ mm} \times 2 \text{ 本}} = \frac{3\,400\,000}{600} \approx 5\,700 \text{ [N]}$
379	問 1 下から 2 行目の数式	引抜力 $T = 2883.3 \text{ N} <$	引抜力 $T = 5700 \text{ N} <$

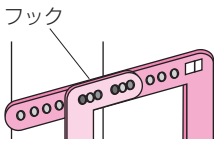
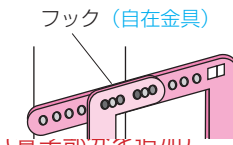
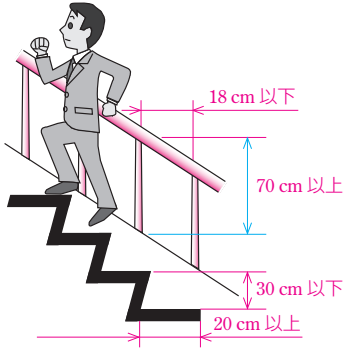
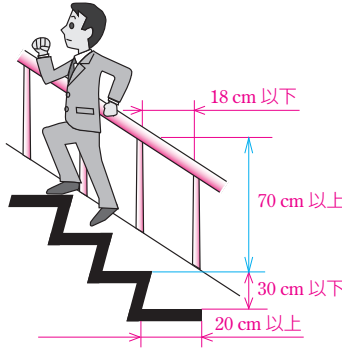
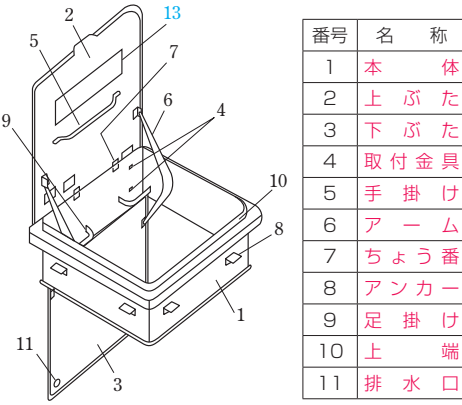
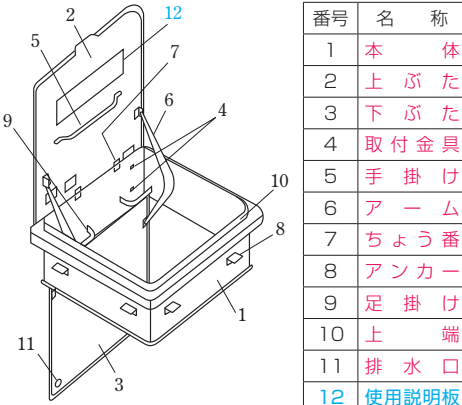
ページ	箇所	誤	正
381	問 1 (3)解説 2, 3 行目	④避難橋などである。	④避難橋, ⑤避難はしごなどである。
		特定 1 階段等防火対象物	さらに、特定 1 階段等防火対象物
384	図	従業員食堂 30m ²	食堂 30m ² (青字部分を削除)
385			

要点ガッチリ 消防設備士5類

版刷：第1版第1刷

発行日：2016年11月2日

ISBNコード：978-4-485-23023-7

ページ	箇所	誤	正
85	7 避難ロープ	つり下げ 金具	つり下げ具 (青字部分を削除)
115	下から9行目	床面の場合は、直径 0.5 m以上であること。	開口部を床面の部分に設ける場合は、直径 0.5 m以上の円が内接できるものであること。 (青字部分を修正・追加)
119	図 2.50 左の図		
121	「⑤ 表示」から3行目	製造年月日	製造年月 (青字部分を削除)
126	「① 緩降機とは」4行目	検定対 商品	検定対象品
139	「③ 表示」図 2.60 製造年月	平成■年■月	■年■月 (青字部分を削除)
149	3行目	床面積の	床面の (青字部分を削除)
156	下から5行目⑥の解説	左右 対称	左右 均等
157	下から5行目		
161	問4 1行目		
163	「③ 表示」図 2.75 製造年月	平成■年■月	■年■月 (青字部分を削除)
185	図 2.91		
213	要点のまとめ	9行目	場合あって (青字部分を追加)
		下から7行目	架空 断線
215	問2	避難はしごの 操作	操作 (青字部分を削除)
218	図 2.110		
221	下から10行目	板 加 する	板 加工 する
223	問2 図右側の数値	576	(削除)
231	下から9行目	緩降機の取付け部	取付け部 (青字部分を削除)

ページ	箇所	誤	正
236	「③降下空間」から1行目	全面	前面
246	18行目	長さ 0.9 mm 以上とする.	長さ 0.9 m 以上とする.
332	図 3.24 階段部分の最上部の図中	垂れ壁があってはならない	(削除)
332	7～8行目	…の避難器具の設置個数を減少することができる.	…の設置個数とすることができる.
333	4行目 下から9行目	…の避難器具を減少することができる.	
341	下から13行目 下から11行目	…を減少できる.	
	下から8行目		
351	下から8行目 下から6行目	…を減免	
	下から4行目		
347	下から7～8行目 ・消防同意 ②	指定確認検査期間	指定確認検査機関
350	「□消防設備士制度」から7行目	整備, 工事である.	整備, 点検である.
362	問1 (3)	はしご下端の高さ	最下部横棧の高さ
363		はしごの下端の寸法は	最下部横棧の高さは
364	問2 (3)	はしご下端の高さ	最下部横棧の高さ
365		はしごの下端の寸法は	最下部横棧の高さは
370	【問1】の見出しと図の間	(文章を追加)	緩降機を設置する場合, 下図のA～H, およびア～ウの部分の数値, 名称を答えなさい.
374	【問1】の見出しと図の間	(文章を追加)	垂直式救助袋を設置する場合, 下図のA～F, およびア、イの部分の数値, 名称を答えなさい.
376	【問2】の見出しと図の間	(文章を追加)	斜降式救助袋を設置する場合, 下図のA～G, およびア～ウの部分の数値, 名称を答えなさい.
378	問1 最後の行	4本使用するものとする.	4本使用するものとするが, 引抜力は2本のアンカーボルトにかかるものとする. (青字部分を追加)
379	問1 8行目の数式	$T = \frac{M [\text{N}\cdot\text{mm}]}{300 \text{ mm} \times 4 \text{ 本}} = \frac{3\,400\,000}{1\,200} \approx 2\,833.3 [\text{N}]$	$T = \frac{M [\text{N}\cdot\text{mm}]}{300 \text{ mm} \times 2 \text{ 本}} = \frac{3\,400\,000}{600} \approx 5\,700 [\text{N}]$
379	問1 下から2行目の数式	引抜力 $T = 2883.3 \text{ N} <$	引抜力 $T = 5700 \text{ N} <$
381	問1 (3)解説2行目	④避難橋などである.	④避難橋, ⑤避難はしごなどである。さらに, 特定1階段等防火対象物であるため, 常時使用できるものか, 1動作で使用できるものとする. (青字部分を追加)

ページ	箇所	誤	正
384	図	従業員食堂 40m ²	食堂 30m ² (青字部分を削除, 緑字部分を訂正)
385		従業員食堂 30m ²	食堂 30m ² (青字部分を削除)
385	(1)の解説 8-12行目	$(80\text{ m}^2 + 40\text{ m}^2) \div 3\text{ m}^2 \doteq 40$ 人 $(450\text{ m}^2 + 350\text{ m}^2) \div 4\text{ m}^2 = 200$ 人 したがって, 従業員 45 人+飲食・休憩の床面積 40 人+その他の床面積 200 人 = 285 人 収容人員は, 285 人である.	$30\text{ m}^2 \div 3\text{ m}^2 \doteq 10$ 人 $(450\text{ m}^2 + 350\text{ m}^2 + 80\text{ m}^2) \div 4\text{ m}^2 = 220$ 人 したがって, 従業員 45 人+飲食・休憩の床面積 10 人 +その他の床面積 220 人 = 275 人 収容人員は, 275 人である.
385	(2)の解説 4行目	$285 \div 200 = 1.425$ 個	$275 \div 200 = 1.375$ 個